

SiteMinder

IIS 用 Web エージェント インストール ガイド

12.52 SP1



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複製、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負いません。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルが参照している CA Technologies の製品は以下のとおりです。

- SiteMinder
- CA IdentityMinder™ (旧 CA Identity Manager)
- eTrust SOA Security Manager (旧 CA SOA Security Manager)

CA への連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

マニュアルの変更点

SiteMinder の旧リリースで発見された問題の結果として、12.52 SP1 のドキュメントに以下の更新が行われました。

- [Web エージェントのアンインストール \(P. 69\)](#) - サポートされている JRE のインストールおよびシステムパスへの包含に関連する古いデータを削除しました。JRE は現在、ソフトウェアに含まれています (CQ 178969)。
- [バージョン 12.0.2 以前から IIS 用のエージェントをアップグレードする方法 \(P. 53\)](#) - CQ 170479 および STAR イシュー番号 21402742:01 を解決するために、バージョン 12.0.2 以前から 12.52 SP1 にアップグレードするためのアップグレード手順を変更しました。
- [従来のパイプラインモードを使用する際に ISAPI フィルタがリストの先頭であることの確認 \(P. 32\)](#) - ISAPI フィルタの配置を確認するための、新しいインストラクションを追加しました。CQ 170577 および STAR イシュー番号 21403389:01 を解決します

目次

第 1 章: 準備	7
このガイドでは IIS Web サーバ手順のみ.....	7
SiteMinder エージェントのハードウェア要件	8
インターネット インフォメーション サービス (IIS) Web サーバ用の新しいエージェントへの機能の結合.....	8
IIS ディレクトリ構造用の複数エージェント	9
SiteMinder エージェント準備ロードマップ	11
IIS 用エージェントのインストールを準備する方法.....	12
管理者権限を持つアカウントがあることを確認する	12
IIS の役割、および役割サービスがインストールされていることを確認する	13
プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス	13
Windows IIS Web サーバに最新のサービス パックと更新が適用されていることを確認する	14
IIS 用エージェントインストールのポリシー サーバ前提条件の確認.....	14
既知の問題に関する Web エージェントリリース ノートの確認	16
第 2 章: Windows オペレーティング環境への IIS 用エージェントのインストール	17
エージェントインストールとエージェント設定の比較	17
IIS 用エージェントインストールと設定ロードマップ.....	18
IIS 用エージェントをインストールおよび設定する方法.....	19
IIS 7.x Web サーバ共有設定と IIS 用エージェント	19
エージェントインストールプログラム用の情報を収集します。	24
Windows 上でのインストールプログラムの実行	24
IIS Web サーバ用のエージェント設定プログラムに関する情報の収集	26
Web エージェント設定ウィザードの実行	31
従来のパイプライン モードを使用する際に ISAPI フィルタがリストの先頭であることの確認.....	32
IIS エージェントに対するサイレントインストールおよび設定の実行	33
IIS 用エージェントに特定の設定を手動で設定する方法.....	43
デフォルト以外のログの場所に対する権限を手動で設定する	44
証明書を必要とする SiteMinder 認証方式の IIS 設定を手動で変更する	45
第 3 章: Web エージェントを 12.52 SP1 にアップグレードする	47
IIS 用エージェントのアップグレードロードマップ	48

SiteMinder エージェントのアップグレードの準備をする方法	49
UNIX および Linux オペレーティング環境での環境スクリプトの取得	50
IIS 用エージェントをアップグレードするためにインストール ウィザードを実行する	50
エージェント設定オブジェクトへのロギング パラメータ値の追加.....	51
バージョン 12.0.2 以前から IIS 用のエージェントをアップグレードする方法.....	53
Web サーバからの既存のエージェントの設定の削除.....	55
Web サーバからの既存のエージェント ソフトウェアの削除.....	56
エージェントの新規バージョンの Web サーバへのインストール	58
Web サーバ上でのエージェントの新規バージョンの設定.....	60
(オプション) 新規エージェントのディレクトリ構造の確認	61
第 4 章: ダイナミック ポリシー サーバクラスタ	63
ダイナミック ポリシー サーバクラスタへの Web エージェントの接続	65
第 5 章: Web エージェントの起動と停止	67
Web エージェントの有効化	67
Web エージェントの無効化	68
第 6 章: Web エージェントのアンインストール	69
Web エージェントのアンインストールに関する注意事項.....	69
IIS エージェントのアンインストール	70
IIS エージェントのサイレントでの削除	72
第 7 章: トラブルシューティング	73
IIS 用 SiteMinderWeb エージェントの前に別の IIS 7.x モジュールを実行する必要があります。	74
エージェント設定後にドキュメント ルート フォルダを変更するとリソースが非保護のままになる.....	75
エージェントのスタートアップおよびシャットダウンの問題の診断 (フレームワーク エージェントのみ)	76
ホスト設定ファイルへのアクセス許可がないことを表すイベント ビューア メッセージ	76
付録 A: ワークシート	79
Windows オペレーティング環境の Web エージェント インストール ワークシート	79
IIS Web サーバ用の SiteMinder エージェント設定ワークシート	79

第 1 章: 準備

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[このガイドでは IIS Web サーバ手順のみ \(P. 7\)](#)

[SiteMinder エージェントのハードウェア要件 \(P. 8\)](#)

[インターネットインフォメーションサービス \(IIS\) Web サーバ用の新しいエージェントへの機能の結合 \(P. 8\)](#)

[IIS ディレクトリ構造用の複数エージェント \(P. 9\)](#)

[SiteMinder エージェント準備ロードマップ \(P. 11\)](#)

[IIS 用エージェントのインストールを準備する方法 \(P. 12\)](#)

このガイドでは IIS Web サーバ手順のみ

このガイドでは、Windows オペレーティング環境での IIS 用の SiteMinder エージェントのインストールまたは設定に関する手順についてのみ説明します。

SiteMinder エージェントを他のタイプの Web サーバまたはオペレーティング環境にインストールまたは設定するには、以下のいずれかのガイドを参照してください。

- *Apache* サーバ用 Web エージェント インストール ガイド。
- Domino 用 Web エージェント インストール ガイド。
- *Oracle iPlanet* 用 Web エージェント インストール ガイド。

SiteMinder エージェントのハードウェア要件

Windows

Windows で稼働するエージェントは以下のハードウェアを必要とします。

- CPU : x86 または x64
- メモリ : 2 GB のシステム RAM。
- 使用可能なディスク領域 :
 - インストール場所に 2 GB の空きディスク領域。
 - 一時的な場所に .5 GB の空きディスク領域。

インターネット インフォメーション サービス (IIS) Web サーバ用の新しいエージェントへの機能の結合

この製品は、インターネット インフォメーション サービス (IIS) 用のすべての機能を結合して 1 つのエージェントにします。

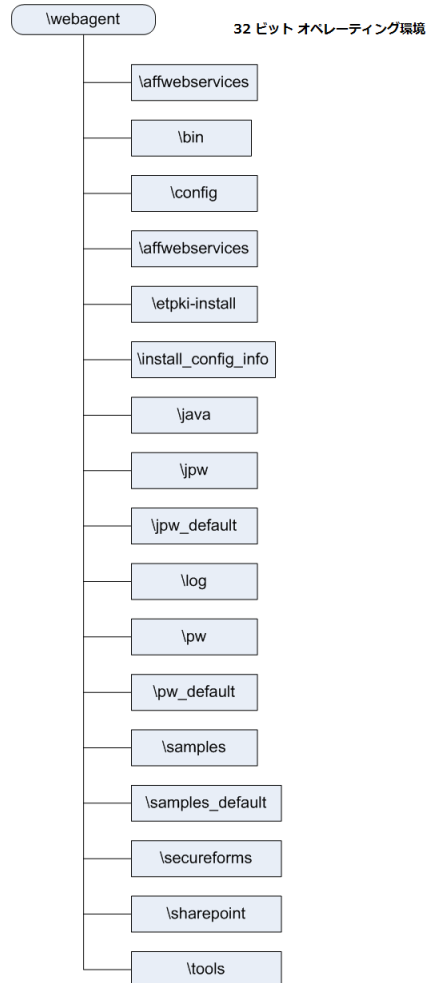
ISAPI プラグインおよびネイティブ HTTP モジュールとして実装される IIS 用 Web エージェントは、以下の機能をサポートします。

- 統合またはクラシック パイプライン モードを使用したアプリケーションプール。
- [32 ビット アプリケーションの有効化] オプションで設定されるアプリケーションプール。
- オプションの IIS アプリケーション リクエスト ルーティング (ARR) 機能。
- IIS クラスタを含む IIS 7.0 および 7.5 によるサポートおよび設定展開の共有。

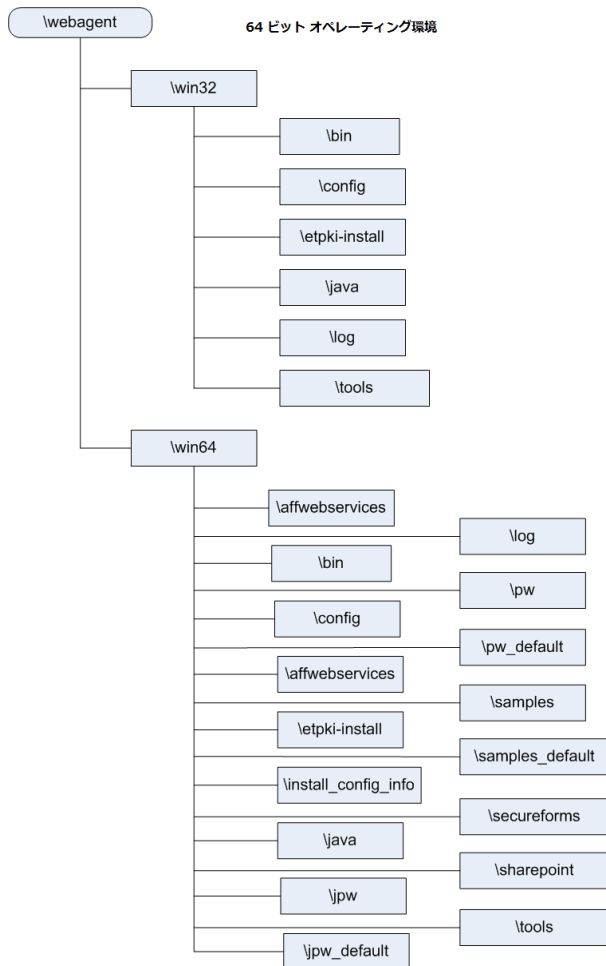
IIS ディレクトリ構造用の複数エージェント

エージェント ファイルの IIS Web サーバに追加されたディレクトリ構造は、IIS Web サーバのオペレーティング環境に応じて異なります。以下のディレクトリ構造があります。

- IIS 用 SiteMinder エージェントは、以下の図に示すディレクトリ構造を使用します。



- 64 ビットオペレーティング環境にインストールされた IIS の SiteMinder エージェントは、以下の図に示すディレクトリ構造を使用します。

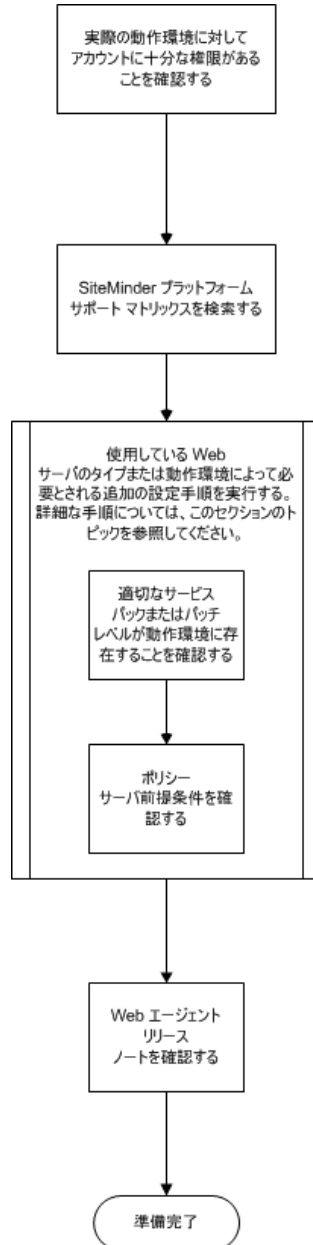


詳細情報:

[IIS 用エージェントをアップグレードするためにインストールウィザードを実行する \(P. 50\)](#)

SiteMinder エージェント準備ロードマップ

以下の図では、IIS 用 SiteMinder エージェントの Windows オペレーティング環境を準備する方法について説明します。



IIS 用エージェントのインストールを準備する方法

Windows オペレーティング環境で IIS 用エージェント インストールを準備するには、以下のプロセスを使用します。

1. [エージェントをインストールするコンピュータに対する管理権限を有するアカウントがあることを確認します](#) (P. 12)。
2. [IIS の役割、関連する役割サービスおよび機能が Windows オペレーティング環境にインストールされていることを確認する](#) (P. 13)。
3. [SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスへアクセスする](#) (P. 13)。IIS Web サーバがインストールするエージェントバージョンの要件を満たすことを確認する。
4. [IIS Web サーバの Windows オペレーティング環境に適切なサービスパックと更新がインストールされていることを確認する](#) (P. 14)。
5. [ポリシー サーバがエージェント インストールの前提条件を満たしていることを確認する](#) (P. 14)。
6. 既知の問題に関する「[Web エージェント リリース ノート](#)」を[確認する](#) (P. 16)。

管理者権限を持つアカウントがあることを確認する

IIS Web サーバに SiteMinder Web エージェントまたは IIS 用 SiteMinder エージェントをインストールまたは設定するには、管理者権限のあるアカウントが必要です。

Windows 2008 システムの場合、以下のいずれかのアクションを実行して SiteMinder Web エージェントまたは IIS 用 SiteMinder エージェントをインストールまたは設定します。

- Windows エクスプローラを使用している場合は、.exe ファイルを右クリックします。次に、[管理者として実行] を選択します。
- コマンドラインを使用している場合は、管理者権限を使用して新しいコンソール ウィンドウを開きます。次に、目的のコマンドを実行します。

注: Windows 2008 システムに SiteMinder Web エージェントまたは IIS 用 SiteMinder エージェントをインストールまたは設定する詳細については、「[Web エージェント リリース ノート](#)」を参照してください。

IIS の役割、および役割サービスがインストールされていることを確認する

IIS (Web サーバ) の役割はデフォルトでは有効にされません。IIS 用のエージェントをインストールする前に、各 Windows システムに IIS の役割がインストールされ有効になっていることを確認します。

次の手順に従ってください:

1. [スタート] - [すべてのプログラム] - [管理ツール] - [サーバマネージャ] をクリックします。
2. IIS が役割リストに表示されていることを確認します。
3. Web サーバ (IIS) の役割が表示されない場合は、役割の追加ウィザードを使用して追加します。IIS 用エージェントの ISAPI フィルタ機能を使用する場合は、以下の役割サービスも追加します。
 - ASP.NET
 - CGI
 - ISAPI 機能拡張
 - ISAPI フィルタ
 - IIS 管理コンソール
 - Windows 認証 (SiteMinder Windows 認証方式の場合)

プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス

プラットフォーム サポート マトリックスを使用して、オペレーティング環境および他の必要なサードパーティ コンポーネントがサポートされていることを確認します。

次の手順に従ってください:

1. CA サポート サイトに移動します。
2. [Product Pages] をクリックします。
3. 製品名を入力し、Enter キーを押します。

4. ポピュラーなリンクを開き、[Informational Documentation Index] をクリックします。
5. [Platform Support Matrices] をクリックします。

注: 最新の JDK および JRE バージョンは、[Oracle Developer Network](#) でダウンロードできます。

技術パートナーおよび CA によって検証済みの製品

パートナーおよびパートナーによって検証済み製品の最新[リスト](#)

Windows IIS Web サーバに最新のサービス パックと更新が適用されていることを確認する

IIS 用 SiteMinder エージェントをインストールする前に、Windows Update を使用して、Windows 動作環境に最新のサービス パックと更新が含まれているかどうかを確認することをお勧めします。

IIS 用エージェント インストールのポリシー サーバ前提条件の確認

IIS 用エージェントは、接続するポリシー サーバに関する以下の情報を必要とします。

- ポリシー サーバの IP アドレス
- ポリシー サーバ内の特定の SiteMinder オブジェクト名

管理 UI はポリシー サーバ内でこれらのオブジェクトを作成します。後で Web サーバと 管理 UI インターフェース間の仲介をしないようにするために、エージェントをインストールする前にそれらを作成することを推奨します。

IIS 用エージェントは、ポリシー サーバに格納される以下の SiteMinder オブジェクトの名前を必要とします。

ホスト設定オブジェクト

エージェントが行った初期接続後のポリシー サーバへの後続の接続のためにエージェントが使用する設定が含まれています。

管理者ユーザ名

以下の権限を持つ SiteMinder ユーザの名前を識別します。

- 管理者権限
- トラストドホストの登録権限

管理者パスワード

SiteMinder ポリシー サーバで管理者ユーザ名と関連付けられるパスワードを識別します。

AgentName

Web エージェントの ID を定義します。この ID は、その名前と、エージェントをホストしている各 Web サーバインスタンスの IP アドレスの間で、マッピングを確立します。

一致する値が存在しない場合、エージェントは DefaultAgentName パラメータからの値を代わりに使用します。

注: このパラメータは複数の値を持つことができます。エージェント設定オブジェクトでこのパラメータを設定する場合は、複数値オプションを使用します。ローカル設定ファイルでは、パラメータ名と値をファイルの別の行に追加します。

デフォルト: デフォルトなし

制限: 複数の値が許可されていますが、各 AgentName パラメータは 4,000 文字に制限されています。文字をパラメータ名に追加することにより、必要に応じて追加の AgentName パラメータを作成します。たとえば、AgentName、AgentName1、AgentName2 などを作成します。

制限: 32 ~ 127 の範囲内に 7 ビット ASCII 文字が含まれている必要があります。アンパサンド (&) およびアスタリスク (*) 文字は含めることができません。大文字と小文字は区別されません。たとえば、MyAgent と myagent という名前は、同じように処理されます。

例: myagent1,192.168.0.0 (IPV4)

例: myagent2, 2001:DB8::/32 (IPV6)

例: myagent, www.example.com

既知の問題に関する Web エージェント リリース ノートの確認

Web エージェント リリース ノートの最新バージョンは CA サポート Web サイトから入手可能です。SiteMinder エージェントをインストールまたは設定する前にこれらを確認することを推奨します。

次の手順に従ってください:

1. Web ブラウザを開き、[テクニカルサポート Web サイト](#)に移動します。
2. [Enterprise/Small and Medium Business] をクリックします。
3. [Get Support] タブの下で、[Product Documentation] をクリックします。
4. [Select a Bookshelf] の下のフィールドをクリックします。
5. 「siteminder」と入力します。
6. リストから該当のマニュアル選択メニューをクリックし、[Go] をクリックします。
7. [Release Notes] をクリックします。

第 2 章: Windows オペレーティング環境への IIS 用エージェントのインストール

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[エージェントインストールとエージェント設定の比較](#) (P. 17)

[IIS 用エージェントインストールと設定ロードマップ](#) (P. 18)

[IIS 用エージェントをインストールおよび設定する方法](#) (P. 19)

[IIS 用エージェントに特定の設定を手動で設定する方法](#) (P. 43)

エージェントインストールとエージェント設定の比較

インストールと設定の概念は、SiteMinder エージェントの説明に使用された場合に特定の意味を持ちます。

インストールは SiteMinder エージェントソフトウェアをコンピュータシステムにインストールすることを意味します。たとえば、エージェントをインストールするとディレクトリが作成され、SiteMinder エージェントソフトウェアおよびその他の設定がコンピュータにコピーされます。

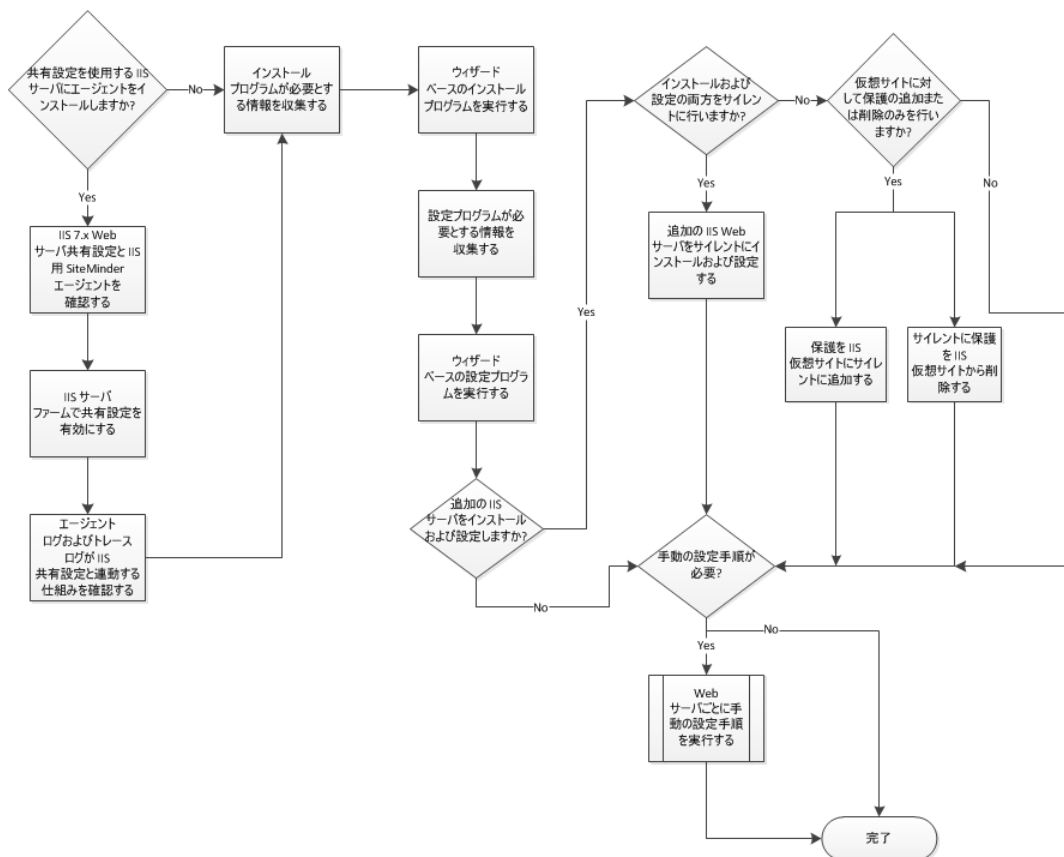
設定はインストールの後に発生し、コンピュータ上の特定の Web サーバに対する SiteMinder エージェントソフトウェア準備のアクションを意味します。この準備には SiteMinder ポリシーサーバにエージェントを登録し、コンピュータにインストールされる Web サーバ用のランタイムサーバインスタンスを作成することが含まれます。

エージェントを最初の Web サーバにインストールおよび設定するには、ウィザードベースのインストールおよび設定プログラムを使用します。ウィザードベースのプログラムは .properties ファイルを作成します。

.properties ファイルおよび対応する実行可能ファイルを使用して、エージェントを追加の Web サーバにサイレントにインストールまたは設定します。

IIS 用エージェント インストールと設定ロードマップ

以下の図では、IIS 用 SiteMinder エージェントをインストールおよび設定するプロセスについて説明します。



IIS 用エージェントをインストールおよび設定する方法

IIS 用エージェントのインストールおよび設定には、いくつかの個別の手順が必要です。IIS 用エージェントをインストールおよび設定するには、以下のプロセスを使用します。

1. IIS サーバファームに IIS 用エージェントを展開している場合は、以下のトピックを確認します。
 - [IIS 7.x Web サーバ共有設定 \(P. 19\)](#)。
 - [Web エージェント ログおよびトレース ログが共有設定と連動する仕組み \(P. 22\)](#)。
2. [インストールプログラム用の情報を収集する \(P. 24\)](#)。
3. [ウィザードベースのインストールプログラムを実行する \(P. 24\)](#)。
4. [設定プログラム用の情報を収集する \(P. 26\)](#)。
5. [ウィザードベースの設定プログラムを実行する \(P. 31\)](#)。
6. [従来のパイプラインモードを使用する際に ISAPI フィルタがリストの先頭であることの確認 \(P. 32\)](#)
7. (オプション) [IIS 用の追加のエージェントをサイレントにインストールおよび設定する \(P. 33\)](#)。
8. (オプション) IIS Web サーバ上の仮想サイトから SiteMinder 保護をサイレントに[追加 \(P. 34\)](#)または[削除 \(P. 38\)](#)する。
9. IIS 用エージェントが[マニュアル設定手順を必要とする \(P. 43\)](#)かどうか決定する。

IIS 7.x Web サーバ共有設定と IIS 用エージェント

IIS 7.x Web サーバは、IIS サーバファームの設定プロセスを効率化する共有設定をサポートします。

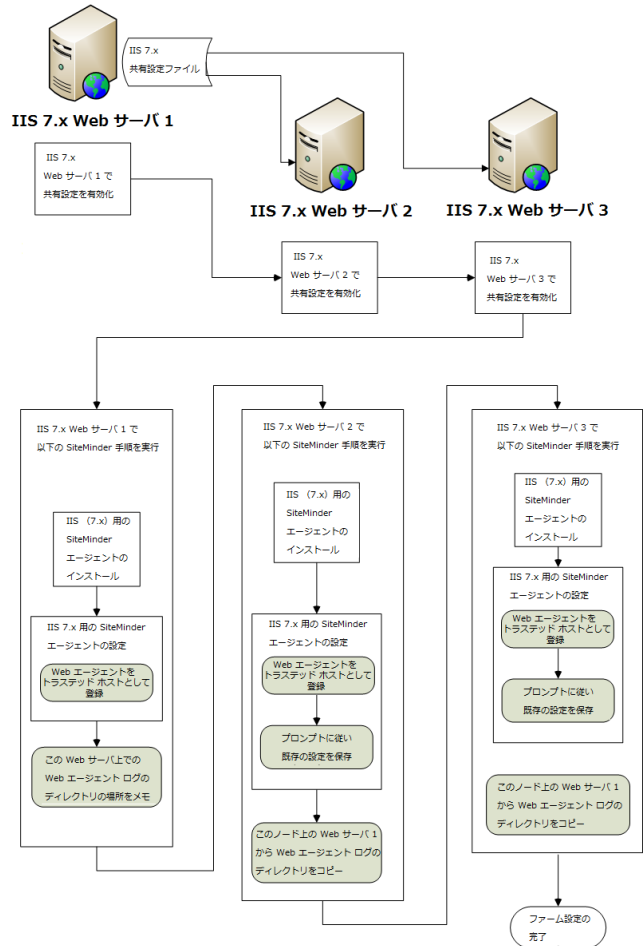
IIS 用エージェントは IIS 7.x の共有設定機能を使用する IIS サーバファーム上のリソースを保護できるようになりました。

注: この機能は IIS 7 用 SiteMinder 12.52 SP1 エージェントでのみ動作します。SiteMinder Web エージェントのより古いバージョンは、この機能をサポートしていません。

IIS 7.x は、ネットワーク共有を使用して、サーバファーム全体に設定情報を伝達します。ただし、IIS 用 SiteMinder 12.52 SP1 エージェントはネットワーク共有上で作動できません。IIS サーバファームで IIS 用の SiteMinder 12.52 SP1 エージェントを使用すると、いくつかの個別の手順を必要とします。

たとえば、3 つの IIS 7.x Web サーバがあり、そのすべてが共有設定を使用しているものとします。1 番目の Web サーバはプライマリ Web サーバであり、ファーム用の設定情報が含まれます。2 番目と 3 番目の Web サーバは、1 番目の Web サーバ上のネットワーク共有に接続して、設定情報を読み取ります。

次の図では、3つの IIS 7.x Web サーバすべてで IIS 用の SiteMinder エージェントを使用するためのインストールおよび設定のプロセス全体を示します。



Web エージェント ログおよびトレース ログが IIS 7.x Web サーバ共有設定で動作する方法

IIS サーバファームで稼働する IIS 用 SiteMinder エージェントでは、以下の条件がすべて当てはまる場合は、各ノードに重複したログおよびトレースファイルディレクトリを作成します。

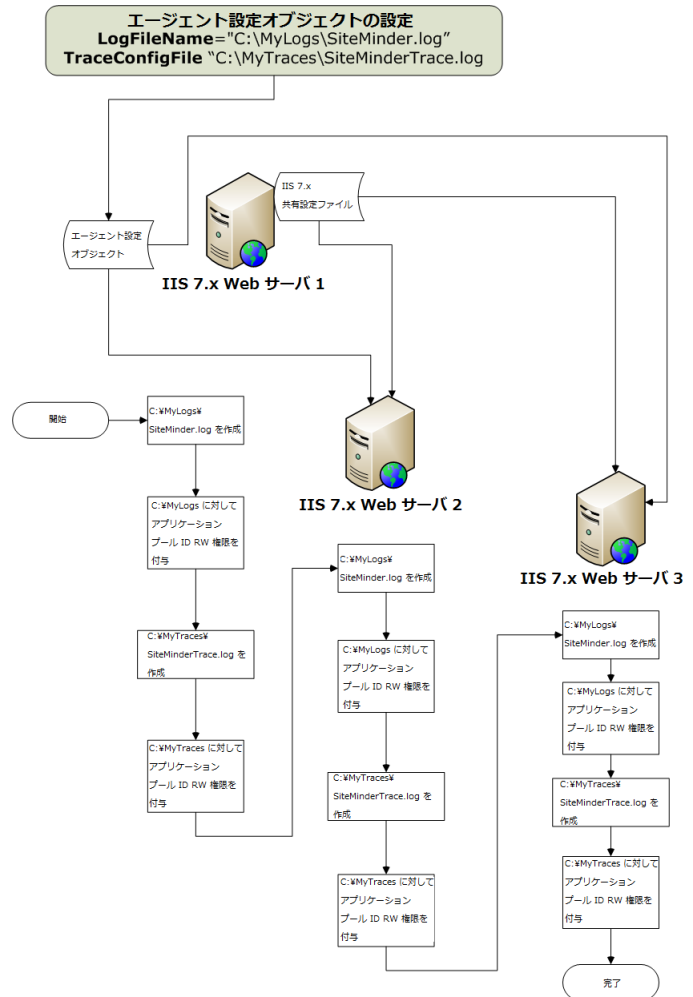
- IIS 用エージェントのログおよびトレース ログ ディレクトリが、ポリシー サーバのエージェント設定オブジェクトで指定されています (ローカル設定ファイルではありません)。
- サーバファームの IIS 7.x Web サーバ内のすべての IIS 用 SiteMinder エージェントが、同じエージェント設定オブジェクトを共有します。
- 共有エージェント設定オブジェクトで指定されている IIS 用エージェントのログファイルおよびトレース ログ ディレクトリが、以下のデフォルト設定とは異なります。
 - `web_agent_home¥win32¥log` (Windows IIS 7.x 32 ビットの場合)
 - `web_agent_home¥win64¥log` (Windows IIS 7.x 64 ビットの場合)

前の条件がすべてサーバファームに存在する場合は、以下のプロセスを使用して Web エージェント ログおよびトレース ログを有効にします。

1. ファーム用の共有設定が含まれるカスタム ログ ディレクトリを IIS 7.x Web サーバに作成します。
2. 保護されているリソースと関連付けられたアプリケーションプール ID に、以前の IIS 7.x Web サーバ上のカスタム ディレクトリに対する以下の権限を付与します。
 - 読み取り
 - 書き込み
3. ファームの IIS 7.x Web サーバ ノードに同じカスタム ログ ディレクトリを作成します。
4. 保護されているリソースと関連付けられたアプリケーションプール ID に、ファームの IIS 7.x Web サーバ ノード上のカスタム ディレクトリに対する以下の権限を付与します。
 - 読み取り
 - 書き込み
5. サーバファームの他のすべてのノードに対して手順 3 および 4 を繰り返します。

たとえば、3つの IIS 7.x Web サーバがあり、そのすべてが共有設定を使用しているものとします。1番目の Web サーバはプライマリ Web サーバであり、ファーム用の設定情報が含まれます。2番目と3番目の Web サーバは、1番目の Web サーバ上のネットワーク共有に接続して、設定情報を読み取ります。

これらのログを設定するプロセス全体を以下の図に示します。



エージェント インストール プログラム用の情報を収集します。

Windows オペレーティング環境で IIS 用の SiteMinder エージェントのインストールプログラムを実行する前に、Web サーバに関する以下の情報を収集します。

インストール ディレクトリ

Web サーバ上の SiteMinder エージェント バイナリ ファイルの場所を指定します。 `web_agent_home` 変数はこの場所に設定されます。

制限: SiteMinder では、パス内の最下部のディレクトリに「webagent」という名前をつける必要があります。

ショートカットの場所

[スタート] メニューに Web エージェント設定ウィザードのショートカットの場所を指定します。

Windows 上でのインストール プログラムの実行

エージェントのインストールプログラムは Windows オペレーティング環境を使用して、一度に 1 台のコンピュータにエージェントをインストールします。このインストールプログラムはウィザードまたはコンソールモードで実行できます。ウィザードおよびコンソールベースのインストールプログラムは、同じ設定の無人またはサイレントメソッドを使用して、後続のインストールおよび設定のための `.properties` ファイルも作成します。

たとえば、環境内のエージェントが同じ Web サーババージョン、インストールディレクトリ、エージェント設定オブジェクト、およびポリシーサーバを使用すると仮定します。最初のインストールにはインストールウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムを使用します。その後、ウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムが作成した `.properties` ファイルを有するインストールプログラムを実行するために独自のスクリプトを作成できます。

次の手順に従ってください:

1. Web サーバ上の一時ディレクトリに Web エージェントインストール実行可能ファイルをコピーします。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - ウィザードベースのインストールでは、インストール実行可能ファイルを右クリックし、次に、[管理者として実行] を選択します。
 - コンソールベースのインストールでは、コマンドライン ウィンドウを開き、以下の例に示すとおり実行可能ファイルを実行します。

```
executable_file_name.exe -i console
```
3. 事前に収集した情報を使用してインストールを完了します。

詳細情報:

[Windows オペレーティング環境の Web エージェントインストールワークシート \(P. 79\)](#)

IIS Web サーバ用のエージェント設定プログラムに関する情報の収集

IIS Web サーバに <stmdnr> エージェントを設定する前に、環境に関する以下の情報を収集します。

ホスト登録

このエージェントをトラステッドホストとしてポリシーサーバに登録するかどうかを示します。1つのエージェントについて1つの登録のみが必要です。IIS 7.x 用 SiteMinder エージェントを IIS サーバファームにインストールしている場合は、ファームのすべての IIS エージェントをトラステッドホストとして登録します。

制限： はい、いいえ

管理者ユーザ名

ポリシーサーバ上でトラステッドホストオブジェクトを作成し、登録するための十分な権限がある SiteMinder ユーザアカウントの名前を指定します。

管理者パスワード

ポリシーサーバ上にトラステッドホストオブジェクトを作成および登録するための十分な権限を有する SiteMinder ユーザアカウントと関連付けられるパスワードを指定します。

管理者パスワードの確認

ポリシーサーバ上にトラステッドホストオブジェクトを作成および登録するための十分な権限を有する SiteMinder ユーザアカウントと関連付けられるパスワードを確認します。

共有秘密キーのロールオーバーの有効化

エージェントがトラステッドホストとして登録されるときにポリシーサーバが新しい共有秘密キーを生成するかどうかを示します。

トラステッドホスト名

登録するホストの一意の名前を指定します。登録の後、この名前は管理 UI の [トラステッドホスト] リストに表示されます。IIS Web サーバファームの IIS 用 SiteMinder エージェントを設定するときには、ファームの各 IIS サーバノードに一意の名前を指定します。たとえば、ファームで 6 つのサーバを使用する場合は、一意の名前を 6 つ指定します。

ホスト設定オブジェクト

ポリシー サーバに存在するホスト設定オブジェクトの名前を示します。

IP アドレス

エージェントが接続するすべてのポリシー サーバの IP アドレスを指定します。認証サーバにデフォルト ポートを使用していない場合は、ポート番号を追加します。デフォルト以外のポートは 3 つのポリシーサーバ接続（認証、許可、アカウントिंग）すべてに使用されます。

デフォルト：（認証ポート） 44442

例：（IPv4） 127.0.0.1,55555

例：（IPv6） [2001:DB8::/32][:55555]

注: ハードウェア ロードバランサが単一の仮想 IP アドレス（VIP）によってユーザの環境でポリシー サーバを公開するように設定される場合は、VIP を入力します。

FIPS モード設定

以下のいずれかのアルゴリズムを指定します。

FIPS 互換性/AES 互換性

機密データを暗号化するために以前のバージョンの SiteMinder に存在していたアルゴリズムを使用し、以前のバージョンの SiteMinder と互換性があります。組織が FIPS 準拠のアルゴリズムの使用を必要としない場合は、このオプションを使用します。

FIPS 移行/AES 移行

FIPS 互換性モードから FIPS のみのモードへの移行を許可します。FIPS 移行モードでは、SiteMinder 環境は、FIPS 準拠のアルゴリズムを使用して既存の機密データを再暗号化するときに、既存の SiteMinder 暗号化アルゴリズムを引き続き使用します。

FIPS のみ/AES のみ

FIPS 準拠アルゴリズムのみを使用して、SiteMinder 環境で機密データを暗号化します。この設定は、SiteMinder の旧バージョンと相互運用されず、また下位互換性もありません。

デフォルト：FIPS 互換/AES 互換

注：FIPS は、AES（Advanced Encryption Standard：高度暗号化標準）に適合する暗号モジュールを信用する米国政府のコンピュータセキュリティ標準です。

重要： SiteMinder エージェントおよび SiteMinder ポリシー サーバの両方に互換性のある FIPS/AES モード（または互換モードの組み合わせ）を使用します。

名前

SiteMinder ポリシー サーバへの初期接続を行うために Web エージェントが使用する設定が含まれている SmHost.conf ファイルの名前を指定します。

デフォルト : SmHost.conf

場所

SmHost.conf ファイルが格納されているディレクトリを指定します。Windows 64 ビット動作環境では、設定プログラムにより 2 つの個別ファイルが作成されます。1 つのファイルは 64 ビットアプリケーションをサポートし、もう 1 つのファイルは、同じ Web サーバ上で実行される 32 ビットアプリケーションをサポートします。

デフォルト : (Windows IIS 7.x 32 ビット)

`web_agent_home¥win32¥bin¥IIS`

デフォルト : (Windows IIS 7.x 64 ビット)

`web_agent_home¥win64¥bin¥IIS`

仮想サイト

SiteMinder で保護できる IIS 7.x Web サーバ上の Web サイトをリスト表示します。

重要: 仮想サイトの設定と設定解除は同時に行わないでください。一度ウィザードを実行して目的のサイトを設定し、次に、ウィザードを再度実行し、目的のサイトの設定を解除します。

上書き、保存、設定解除

SiteMinder エージェント設定ウィザードが以下のいずれかの状況を検出したときに表示されます。

- SiteMinder 12.52 SP1 がスタンドアロン IIS Web サーバ上ですでに保護している IIS 7.x Web サイト。
- SiteMinder が共有設定を使用して IIS サーバファーム上で保護する IIS 7.x Web サイト。

以下のいずれかのオプションを選択します。

上書き

SiteMinder エージェントの前の設定を現在の設定に置換します。

保持

SiteMinder エージェントの既存の設定を維持します。この Web サーバインスタンスへの変更は行なわれません。IIS サーバファームの IIS 7.x 用 SiteMinder エージェントを設定している場合は、各 Web サーバノードに対してこの設定を選択します。

設定解除

Web サーバから SiteMinder エージェントの既存の設定を削除します。すべてのリソースは SiteMinder によって保護されない状態のままになります。

デフォルト：保存

エージェント設定オブジェクト名

ポリシー サーバ上ですでに定義されている、エージェント設定オブジェクト (ACO) の名前を指定します。共有設定を使用する、サーバファームの Web サーバでは、ファームのすべての IIS サーバによる 1 つの ACO 名の共有がサポートされます。

デフォルト：AgentObj

詳細情報:

[IIS Web サーバ用の SiteMinder エージェント設定ワークシート \(P. 79\)](#)

Web エージェント設定ウィザードの実行

エージェント設定ワークシート用の情報を収集した後に、エージェント設定ウィザードを実行します。設定ウィザードは、IIS Web サーバ上で IIS 用エージェントのランタイム インスタンスを作成します。

設定ウィザードを 1 回実行すると、プロパティ ファイルが作成されます。同じオペレーティング環境および設定を持った他のコンピュータ上で無人設定を実行するためにプロパティ ファイルを使用します。

注: このバージョンの IIS 用エージェントの設定ウィザードは、コンソールモードをサポートしません。

次の手順に従ってください:

1. [スタート] - [すべてのプログラム] - [CA] - [SiteMinder] をクリックします。

Web エージェント設定ウィザードへのショートカットが表示されます。

2. ショートカットを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、実行ファイルを管理者権限で実行します。管理者としてシステムにログインしている場合でも、これらの権限を使用します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネントの「リリース ノート」を参照してください。

Web エージェント設定ウィザードが開始します。

3. ウィザードを完了します。

従来のパイプライン モードを使用する際に ISAPI フィルタがリストの先頭であることの確認

従来のパイプライン モードで実行されるアプリケーションでは、ISAPI フィルタが ISAPI フィルタのリストの先頭に表示される必要があります。続行前に、IIS Web サーバ上の ISAPI フィルタのリスト内の ISAPI フィルタの位置を確認します。

次の手順に従ってください:

1. 以下の手順に従って、IIS マネージャを開きます。
 - a. [スタート] - [コントロールパネル] を選択します。
[コントロールパネル] が表示されます。
 - b. [スタート] - [管理ツール] - [Internet Information Services (IIS) Manager] の順にクリックします。
IIS Manager が開きます。
2. 以下の手順で、ISAPI フィルタがリストの先頭にあることを確認します。
 - a. IIS Manager から、以下のアイテムを展開します。
 - Web サーバ
 - サイト
 - デフォルトの Web サイト
 - b. [ハンドラー マッピング] アイコンをダブルクリックします。
 - c. [順序指定された一覧の表示] をクリックします。
 - d. 以下の ISAPI フィルタがリストの先頭に表示されることを確認します。
`handler-wa`
3. 手順 2d で ISAPI フィルタがリストの先頭に表示されない場合は、以下の手順を実行します。
 - a. [handler-wa] ISAPI フィルタをクリックします。
 - b. ISAPI フィルタがリストの先頭に表示されるまで、[上へ移動] 矢印をクリックします。
ISAPI フィルタがリストの先頭に表示されます。

IIS エージェントに対するサイレント インストールおよび設定の実行

無人またはサイレント インストール オプションは、インストールおよび設定プロセスを自動化するのに役立ちます。同一の設定を持つ多くのエージェントを使用する大型の SiteMinder 環境がある場合、このメソッドによって時間を節約できます。

たとえば、環境内のエージェントが同じ Web サーババージョン、インストールディレクトリ、エージェント設定オブジェクト、およびポリシーサーバを使用すると仮定します。最初のインストールにはインストールウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムを使用します。その後、ウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムが作成した `.properties` ファイルを有するインストールプログラムを実行するために独自のスクリプトを作成できます。

次の手順に従ってください:

1. 最初の IIS Web サーバ上で以下のウィザードを(表示されるとおりの順序で) 実行します。

- a. SiteMinderWeb エージェント インストール ウィザード。
- b. SiteMinderWeb エージェント設定ウィザード。

2. 最初の IIS Web サーバで以下のファイルを見つけます。

`web_agent_home¥install_config_info¥ca-wa-installer.properties`

注: パスにスペースが含まれる場合は、引用符で囲んでください。

`web_agent_home`

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent`

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent¥win64`

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : `C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win3`

3. 環境内の他の IIS Web サーバノード上で以下の各手順を実行します。

注: このプロセスを自動化するには、カスタマイズした独自のスクリプトを作成し、システム上でこれらのファイルを実行します。使用するスクリプト言語は任意です。

- a. IIS Web サーバノード上で一時ディレクトリを作成します。
- b. (手順 1 および 2 からの) 最初の IIS Web サーバから他の IIS Web サーバ上の一時ディレクトリに以下のファイルをコピーします。
 - SiteMinderWeb エージェント インストール実行可能ファイル。
 - SiteMinder ca-wa-installer properties ファイル。
- c. 一時ディレクトリ内で管理者権限を使用してコマンドプロンプトウィンドウを開きます。
- d. 以下のコマンドを実行します。

```
agent_executable -f properties_file -i silent
```

ノードに IIS 用 SiteMinder Web エージェントが自動的にインストールおよび設定されます。

- e. (オプション) Web サーバノードから一時ディレクトリを削除します。
4. ca-wa-installer.properties ファイルの設定で指定される構成を使用する SiteMinder 環境内の各追加の Web サーバに対して手順 3 を繰り返します。

IIS Web サーバの追加仮想サイトに SiteMinder 保護をサイレントで追加します

IIS Web サーバに IIS 用 Web エージェントがすでにインストールされている場合は、Web サーバ上の追加の仮想 Web サイトを保護できます。たとえば、Example2 および Example3 という名前の 2 つの新しい仮想サイトを IIS サーバへ追加する場合、SiteMinder でそれらを保護できます。

設定ウィザードを実行しない場合、またはサーバファーム内に多くの IIS Web サーバがある場合は、サイレントモードを使用します。

SiteMinder Web エージェント設定プログラムは、エンドユーザのインタラクションを必要としないサイレントまたは無人モードをサポートします。

次の手順に従ってください:

1. 最初の IIS Web サーバで以下のファイルを見つけます。

`web_agent_home¥install_config_info¥ca-wa-installer.properties`

注: このコンテキストでは、最初のサーバとは、共有設定情報が格納されているファームの IIS Web サーバを指します。ノードとは、最初のサーバから共有設定を読み取った、ファームの他の IIS Web サーバのことです。

`web_agent_home`

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent`

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent¥win64`

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : `C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win32`

2. 追加仮想サイトを保護する IIS Web サーバで、以下の各手順を実行します。

注: このプロセスを自動化するには、カスタマイズした独自のスクリプトを作成し、システム上でこれらのファイルを実行します。使用するスクリプト言語は任意です。

- a. IIS Web サーバノード上で一時ディレクトリを作成します。
- b. (手順 1 および 2 からの) 最初の IIS Web サーバから IIS Web サーバノード上の一時ディレクトリに以下のファイルをコピーします。
 - SiteMinder Web エージェント設定実行可能ファイル (`ca-wa-config.exe`)。
 - SiteMinder `ca-wa-installer properties` ファイル。

- c. テキストエディタで SiteMinder ca-wa-installer properties ファイルを開きます。
- d. 以下のパラメータを探します。

CONFIGURE_SITES=

IIS 7.x Web サーバ上で保護する IIS 7.x Web サイトの名前を指定します。これらの名前が Web サーバの Internet Information Services (IIS) Manager 内の Sites フォルダ下に表示される名前と一致していることを確認します。複数の Web サイト名はカンマで区切ります。

詳細については、ca-wa-installer.properties ファイルのコメントを参照してください。

例： デフォルトの Web サイト、Example1、Example2

- e. 前のパラメータで、設定する Web サイトの名前を追加します。Web サーバ上の他のサイトのうち変更しないで残すものの名前を削除します。
- f. 以下のパラメータを探します。

HOST_REGISTRATION_YES=

エージェント設定プログラムがポリシーサーバにエージェントを登録するかどうかを指定します。各 Web サーバではそれぞれ 1 つのトラステッドホストの登録のみが必要です。以前にトラステッドホストとして Web サーバをポリシーサーバに登録した場合は、このパラメータの値を 0 に設定します。

デフォルト： 1 (変更する)

制限： 0 (登録しない)、1 (登録)

- g. IIS Web サーバが、SiteMinder ポリシーサーバにトラステッドホストとしてすでに登録されている場合は、前のパラメータの値を 0 に変更します。それ以外の場合は、設定プログラムが Web サーバをトラステッドホストとして登録します。
- h. 一時ディレクトリ内で管理者権限を使用してコマンドプロンプトウィンドウを開きます。

重要： Windows Server 2008 上で SiteMinder ユーティリティまたは実行可能ファイルを実行する前に、管理者権限でコマンドラインウィンドウを開きます。アカウントに管理者権限がある場合でも、このようにコマンドラインウィンドウを開きます。

- i. 以下のコマンドを実行します。

```
agent_configuration_executable -f properties_file -i silent
```

例 : ca-wa-config.exe -f ca-wa-installer.properties -i silent

ノードに IIS 用 SiteMinder Web エージェントが自動的にインストールおよび設定されます。

- j. (オプション) Web サーバ ノードから一時ディレクトリを削除します。

3. <filename>-wa-installer.properties ファイルの設定で指定された設定を使用する、環境内の追加の IIS Web サーバ ノードそれぞれについて、手順 2 を繰り返します。

IIS Web サーバから Web エージェント設定をサイレントで削除する

Web エージェント設定ウィザードを使用しないで IIS Web サーバ上のすべての Web サイトから SiteMinder 保護を削除するには、サイレントまたは無人モードを使用します。このモードはエンドユーザとのやりとりを必要としません。

次の手順に従ってください:

1. 最初の IIS Web サーバで以下のファイルを見つけます。

```
web_agent_home¥install_config_info¥ca-wa-installer.properties
```

注: このコンテキストでは、最初のサーバとは、共有設定情報が格納されているファームの IIS Web サーバを指します。ノードとは、最初のサーバから共有設定を読み取った、ファームの他の IIS Web サーバのことです。

web_agent_home

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : C:¥Program Files¥CA¥webagent

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : C:¥Program Files¥CA¥webagent¥win64

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win32

2. 仮想サイトの保護を削除する IIS Web サーバで、以下の各手順を実行します。

注: このプロセスを自動化するには、カスタマイズした独自のスクリプトを作成し、システム上でこれらのファイルを実行します。使用するスクリプト言語は任意です。

- a. IIS Web サーバノード上の以下のディレクトリを開きます。

```
web_agent_home¥install_config_info
```

- b. SiteMinder ca-wa-installer properties ファイルを、(手順 1 の) 最初の IIS Web サーバから IIS Web サーバノードの install_config_info ディレクトリへコピーします。
- c. テキストエディタで SiteMinder ca-wa-installer properties ファイルを開きます。

- d. 以下のパラメータを探します。

UNCONFIGURE_SITES=

IIS 7.x Web サーバ上の SiteMinder 保護を削除する IIS 7.x Web サイトの名前を指定します。これらの名前が Web サーバの Internet Information Services (IIS) Manager 内の Sites フォルダ下に表示される名前と一致していることを確認します。複数の Web サイト名はカンマで区切ります。

Web サイトから SiteMinder Web エージェント設定を削除することにより、そのリソースは非保護の状態のままになります。

詳細については、ca-wa-installer.properties ファイルのコメントを参照してください。

例：デフォルトの Web サイト、Example4、Example5

- e. 前のパラメータで、設定解除する Web サイトの名前を入力します。
f. 以下のパラメータを探します。

CONFIGURE_SITES=

IIS 7.x Web サーバ上で保護する IIS 7.x Web サイトの名前を指定します。これらの名前が Web サーバの Internet Information Services (IIS) Manager 内の Sites フォルダ下に表示される名前と一致していることを確認します。複数の Web サイト名はカンマで区切ります。

詳細については、ca-wa-installer.properties ファイルのコメントを参照してください。

例：デフォルトの Web サイト、Example1、Example2

- g. 前のパラメータに Web サイト名が含まれていないことを確認します。
h. 管理者権限を使用してコマンドプロンプト ウィンドウを開きます。

重要： Windows Server 2008 上で SiteMinder ユーティリティまたは実行可能ファイルを実行する前に、管理者権限でコマンドライン ウィンドウを開きます。アカウントに管理者権限がある場合でも、このようにコマンドライン ウィンドウを開きます。

- i. 以下のコマンドを実行します。

```
agent_configuration_executable -f properties_file -i silent
```

例：ca-wa-config.exe -f ca-wa-installer.properties -i silent

ノードの Web サイトが自動的に設定解除されます。

3. <filename>-wa-installer.properties ファイルの設定で指定された設定を使用する、環境内の追加の IIS Web サーバノードそれぞれについて、手順 2 を繰り返します。

IIS Web サーバの一部の仮想サイトから SiteMinder 保護をサイレントで削除します

IIS Web サーバに IIS 用 Web エージェントがすでにインストールされている場合は、Web サーバ上の複数の仮想 Web サイトから保護を削除できます。たとえば、IIS サーバの Example4 と Example5 という名前の 2 つの仮想サイトのみから保護を削除するとします。ca-wa-installer.properties ファイルを変更して、これら 2 つの仮想 Web サイトから設定を削除し、他の Web サイトの保護は変更しないでそのままにします。

設定ウィザードを実行しない場合、またはサーバファーム内に多くの IIS Web サーバがある場合は、サイレントモードを使用します。

SiteMinder Web エージェント設定プログラムは、エンドユーザのインタラクションを必要としないサイレントまたは無人モードをサポートします。

次の手順に従ってください:

1. 最初の IIS Web サーバで以下のファイルを見つけます。

`web_agent_home¥install_config_info¥ca-wa-installer.properties`

注: このコンテキストでは、最初のサーバとは、共有設定情報が格納されているファームの IIS Web サーバを指します。ノードとは、最初のサーバから共有設定を読み取った、ファームの他の IIS Web サーバのことです。

`web_agent_home`

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent`

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent¥win64`

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : `C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win32`

2. 追加の仮想サイトの保護を削除する IIS Web サーバに対して、以下の各手順を実行します。

注: このプロセスを自動化するには、カスタマイズした独自のスクリプトを作成し、システム上でこれらのファイルを実行します。使用するスクリプト言語は任意です。

- a. SiteMinder `ca-wa-installer.properties` ファイルを、(手順 1 の) 最初の IIS Web サーバから IIS Web サーバノードの `install_config_info` ディレクトリへコピーします。
- b. テキストエディタで SiteMinder `ca-wa-installer.properties` ファイルを開きます。
- c. 以下のパラメータを探します。

`UNCONFIGURE_SITES=`

IIS 7.x Web サーバ上の SiteMinder 保護を削除する IIS 7.x Web サイトの名前を指定します。これらの名前が Web サーバの Internet Information Services (IIS) Manager 内の Sites フォルダ下に表示される名前と一致していることを確認します。複数の Web サイト名はカンマで区切ります。

Web サイトから SiteMinder Web エージェント設定を削除することにより、そのリソースは非保護の状態のままになります。

詳細については、ca-wa-installer.properties ファイルのコメントを参照してください。

例：デフォルトの Web サイト、Example4、Example5

- d. 前のパラメータに、設定を削除する Web サイトの名前を追加します。Web サーバ上の他のサイトのうち変更しないで残すものの名前を削除します。
- e. 以下のパラメータを探します。

HOST_REGISTRATION_YES=

エージェント設定プログラムがポリシー サーバにエージェントを登録するかどうかを指定します。各 Web サーバではそれぞれ 1 つのトラステッドホストの登録のみが必要です。以前にトラステッドホストとして Web サーバをポリシー サーバに登録した場合は、このパラメータの値を 0 に設定します。

デフォルト：1 (変更する)

制限：0 (登録しない)、1 (登録)

- f. IIS Web サーバが、SiteMinder ポリシー サーバにトラステッドホストとしてすでに登録されている場合は、前のパラメータを 0 に設定します。それ以外の場合は、設定プログラムが Web サーバをトラステッドホストとして登録します。
- g. 一時ディレクトリ内で管理者権限を使用してコマンドプロンプトウィンドウを開きます。

重要： Windows Server 2008 上で SiteMinder ユーティリティまたは実行可能ファイルを実行する前に、管理者権限でコマンドラインウィンドウを開きます。アカウントに管理者権限がある場合でも、このようにコマンドラインウィンドウを開きます。

- h. 以下のコマンドを実行します。

```
agent_configuration_executable -f properties_file -i silent
```

例：ca-wa-config.exe -f ca-wa-installer.properties -i silent

SiteMinder の設定が、ノード上の選択した仮想サイトから自動的に削除されます。

3. <filename>-wa-installer.properties ファイルの設定で指定された設定を使用する、環境内の追加の IIS Web サーバノードそれぞれについて、手順 2 を繰り返します。

IIS 用エージェントに特定の設定を手動で設定する方法

いくつかの状況において、SiteMinder エージェント設定プログラムは、適切な設定を必要とする IIS Web サーバディレクトリすべてにそれらを追加することができません。

以下の状況のいずれかにおいて IIS 用の SiteMinder エージェント設定を手動で設定します。

- IIS 用 SiteMinder エージェントのログ ファイルは以下のデフォルトディレクトリに格納されません。

`web_agent_home¥log`

`web_agent_home`

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent`

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : `C:¥Program Files¥CA¥webagent¥win64`

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : `C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win32`

たとえば、`C:¥My Logs¥SiteMinder` ディレクトリにログ ファイルを格納すると仮定します。このディレクトリへのアクセス許可を付与します。

- クライアント証明書をリクエストするまたは必要とする認証方式を使用します。

デフォルト以外のログの場所に対する権限を手動で設定する

デフォルト以外のディレクトリにエージェント ログ ファイルを格納する場合は、アプリケーションプールにそのディレクトリへのアクセス許可を付与します。たとえば、`C:\¥MyLogFiles` という名前のディレクトリにログ ファイルを格納する場合は、`C:\¥MyLogFiles` に対するすべてのアプリケーションプール ID の権限を付与します。

Microsoft は、適切な権限の設定に使用できるコマンドラインユーティリティ `icacls.exe` を提供しています。この手順では、サードパーティベンダーによって提供されたツールまたはユーティリティを使用してアクセス許可を設定する方法の 1 つの例を示します。

重要: CA では、CA によりテストされ承認されたプログラムとユーティリティを使用せずに、SiteMinder を設定する、1 つの可能な方法の例としてのみこの情報を提供します。Microsoft は Windows 動作環境の一部として `icacls.exe` コマンドを提供しています。IIS 用エージェントのファイルアクセス権限を付与するガイドとして、以下の例を使用することもできます。ここに示すコマンドと構文は、Microsoft により予告なく随時変更される可能性があります。詳細については、[Microsoft Support](#) の Web サイトに移動し、「icacls」を検索してください。

次の手順に従ってください:

1. IIS Web サーバでコマンドプロンプト ウィンドウを開きます。

重要: Windows Server 2008 上で SiteMinder ユーティリティまたは実行可能ファイルを実行する前に、管理者権限でコマンドライン ウィンドウを開きます。アカウントに管理者権限がある場合でも、このようにコマンドライン ウィンドウを開きます。

2. `icacls` コマンドを実行します。以下の例を参考にしてください。

```
icacls log_directory /grant IIS AppPool¥application_pool_identity  
log_directory
```

アクセス許可を与える必要があるデフォルト以外のログ ディレクトリを指定します。

```
application_pool_identity
```

IIS Web サーバ上の SiteMinder によって保護されるアプリケーションに関連付けられたアプリケーションプールの ID を指定します。

3. IIS Web サーバの各アプリケーションプール ID に対してステップ 2 を繰り返します。たとえば、2つのアプリケーションプールがある場合は、両方に許可を与えます。
4. 共有設定を使用する IIS サーバファームがある場合は、ファームの各 IIS Web サーバに対して手順 1～3 を繰り返します。
権限が設定されます。

証明書を必要とする SiteMinder 認証方式の IIS 設定を手動で変更する

証明書を要求する、または証明書が必要な SiteMinder 認証方式を使用する場合は、以下の仮想ディレクトリの IIS Web サーバで設定を手動で変更します。

- cert
- certoptional

次の手順に従ってください:

1. IIS マネージャを開きます。
2. Web サーバを展開します。
[アプリケーションプール] アイコンおよび [サイト] フォルダが表示されます。
3. [サイト] を展開します。
4. 証明書を必要とする認証方式と関連付けられた Web サイトを展開します。
siteminderagent 仮想フォルダが表示されます。
5. siteminderagent 仮想フォルダを展開します。
6. cert フォルダをクリックします。
7. SSL 設定をダブルクリックします。
8. [SSL 必須] チェック ボックスをオンにし、次に、[必須] オプション ボタンをクリックします。
9. [アクション] の下の [適用] をクリックします。
10. certoptional フォルダをクリックします。
11. SSL 設定をダブルクリックします。

12. [受理] オプション ボタンをクリックします。
13. [アクション] の下の [適用] をクリックします。
14. 証明書を必要とする IIS Web サーバ上の他の Web サイトについて手順 3 ～ 14 を繰り返します。
15. 共有設定を使用する IIS サーバの場合は、ファームの各 IIS Web サーバに対して手順 1 ～ 15 を繰り返します。
設定が変更されます。

第 3 章: Web エージェントを 12.52 SP1 にアップグレードする

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[IIS 用エージェントのアップグレードロードマップ \(P. 48\)](#)

[SiteMinder エージェントのアップグレードの準備をする方法 \(P. 49\)](#)

[UNIX および Linux オペレーティング環境での環境スクリプトの取得 \(P. 50\)](#)

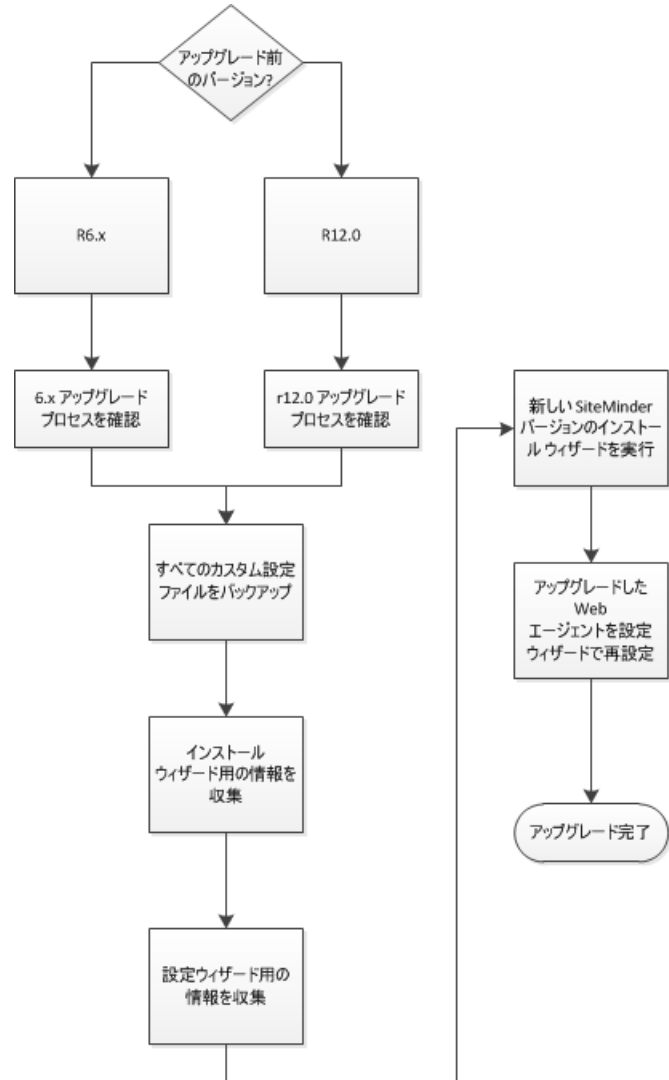
[IIS 用エージェントをアップグレードするためにインストールウィザードを実行する \(P. 50\)](#)

[エージェント設定オブジェクトへのロギングパラメータ値の追加 \(P. 51\)](#)

[バージョン 12.0.2 以前から IIS 用のエージェントをアップグレードする方法 \(P. 53\)](#)

IIS 用エージェントのアップグレード ロードマップ

以下の図では、IIS 用エージェントを r12.5 にアップグレードするプロセスについて説明します。



SiteMinder エージェントのアップグレードの準備をする方法

SiteMinder エージェントのアップグレードはいくつかの別個の手順を必要とします。エージェントのアップグレードの準備をするには、次の手順に従ってください：

1. Web サーバ上で任意のカスタマイズされた SiteMinder ファイルのバックアップ コピーを作成します。エージェントのインストールまたは設定後にカスタマイズできるファイルには以下のファイルが含まれます。
 - LocalConfig.conf
 - WebAgent.conf
2. アップグレードするエージェントのエージェント設定オブジェクト内の以下のログ記録パラメータの値を記録します。
 - LogFileName
 - TraceFileName
 - TraceConfigFile
3. 以下の SiteMinder プログラムの情報を収集します。
 - [エージェント インストール ウィザード \(P. 24\)](#)。
 - (バージョン 12.0.2 以前のバージョンからアップグレードする場合のみ) [エージェント設定ウィザード \(P. 26\)](#)。
4. 以下のタスクのいずれかを実行します。
 - バージョン 12.0.3 以降のバージョンから 12.52 SP1 にアップグレードする場合は、手順 5 に進みます。
 - バージョン 12.0.2 以前のバージョンからアップグレードする場合は、[代わりにこの手順 \(P. 53\)](#)を続行します。
5. [インストール ウィザードを実行して、IIS 用エージェントをアップグレードする \(P. 50\)](#)。
6. [エージェント設定オブジェクト \(P. 51\)](#)に (手順 2 からの) ログ記録パラメータ値を追加します。

UNIX および Linux オペレーティング環境での環境スクリプトの取得

UNIX または Linux で Web エージェントをアップグレードする場合は、以下のディレクトリから使用可能な環境スクリプトを取得します。

SiteMinder 6.0

```
web_agent_home/nete_wa_env.sh
```

SiteMinder 12.0 以降

```
web_agent_home/ca_wa_env.sh
```

web_agent_home

SiteMinder エージェントがインストールされているディレクトリを示します。

デフォルト : /opt/ca/webagent

IIS 用エージェントをアップグレードするためにインストール ウィザードを実行する

エージェントのインストールプログラムは Windows オペレーティング環境を使用して、一度に 1 台のコンピュータにエージェントをインストールします。このインストールプログラムはウィザードまたはコンソールモードで実行できます。ウィザードおよびコンソールベースのインストールプログラムは、同じ設定の無人またはサイレントメソッドを使用して、後続のインストールおよび設定のための `.properties` ファイルも作成します。

たとえば、環境内のエージェントが同じ Web サーババージョン、インストールディレクトリ、エージェント設定オブジェクト、およびポリシーサーバを使用すると仮定します。最初のインストールにはインストールウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムを使用します。その後、ウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムが作成した `.properties` ファイルを有するインストールプログラムを実行するために独自のスクリプトを作成できます。

次の手順に従ってください:

1. Web サーバ上の一時ディレクトリに Web エージェント インストール 実行可能ファイルをコピーします。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - ウィザードベースのインストールでは、インストール実行可能ファイルを右クリックし、次に、[管理者として実行] を選択します。
 - コンソールベースのインストールでは、コマンドライン ウィンドウを開き、以下の例に示すとおり実行可能ファイルを実行します。

```
executable_file_name.exe -i console
```
3. 事前に収集した情報を使用してインストールを完了します。

詳細情報:

[IIS ディレクトリ構造用の複数エージェント \(P. 9\)](#)

エージェント設定オブジェクトへのロギング パラメータ値の追加

IIS 用エージェントのアップグレードの間に一部のロギング パラメータが新しいバージョンに正しくコピーされないことがあります。ロギング パラメータの値を追加することにより、古いバージョンからエージェント設定オブジェクトへのアップグレードを完了します。

以下のパラメータの値を更新します。

LogFileName

ログ ファイルの完全パス (ファイル名を含む) を指定します。

デフォルト: No

例: (Windows) `web_agent_home¥log¥WebAgent.log`

例: (UNIX/Linux)

`/export/iPlanet/servers/https-jsmith/logs/WebAgent.log`

TraceFileName

トレース ログ ファイルの完全パスを指定します。

デフォルト： デフォルトなし

例： C:¥Program Files¥ca¥webagent¥log¥trace.log

TraceConfigFile

監視するコンポーネントとイベントを決定する

WebAgentTrace.conf 設定ファイルの場所を指定します。

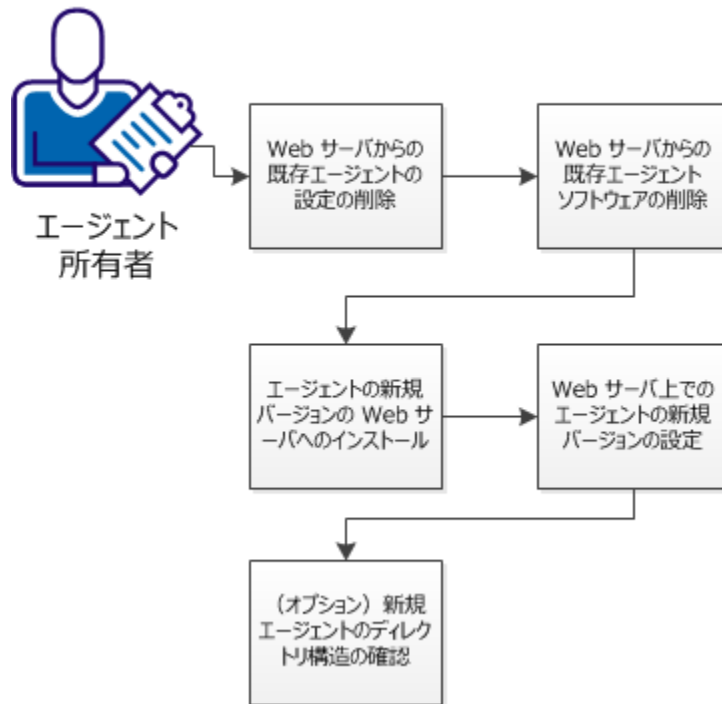
デフォルト： デフォルトなし

例： C:¥Program Files¥ca¥webagent¥config¥WebAgentTrace.conf

バージョン 12.0.2 以前から IIS 用のエージェントをアップグレードする方法

IIS 用のエージェントをバージョン 12.0.3 以降にアップグレードするには、新規バージョンをインストールする前にエージェントの古いバージョンを削除する必要があります。12.0.3 で一部のディレクトリの変更が行われ、これは本製品のそれ以降のバージョンにも適用されます。旧バージョンを削除せずに新規インストールプログラムを実行すると、問題が発生する場合があります。

IIS 用エージェントのアップグレード方法



次の手順に従ってください:

1. [Web サーバから既存のエージェントの設定を削除します](#) (P. 55)。
2. [Web サーバから既存のエージェント ソフトウェアを削除します](#) (P. 56)。
3. [エージェントの新規バージョンを Web サーバにインストールします](#) (P. 58)。
4. [Web サーバ上でエージェントの新規バージョンを設定します](#) (P. 60)。
5. [\(オプション\) 新規エージェントのディレクトリ構造を確認します](#) (P. 61)。

Web サーバからの既存のエージェントの設定の削除

エージェントを 12.0.3 以降にアップグレードする前に、設定ウィザードを使用して、エージェントの前のバージョンからサーバ設定を削除します。たとえば、6.x から 12.52 SP1 にアップグレードする場合は、設定ウィザードを使用して、エージェントの 6.x バージョン用のサーバ設定を削除します。

次の手順に従ってください：

1. Web エージェント設定ウィザードを開始します。

デフォルトの方法では、[スタート] - [プログラム] - [SiteMinder] - [Web エージェント設定ウィザード] を選択します。ウィザードのショートカットをデフォルト以外の場所に配置している場合、手順は若干異なります。

重要： Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、実行ファイルを管理者権限で実行します。管理者としてシステムにログインしている場合でも、これらの権限を使用します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネントのリリース ノートを参照してください。

2. 次の手順に進みます。トラステッドホストを登録する必要はありません。
3. 設定を削除する Web サーバインスタンスのチェックボックスをオフにします。
4. [エージェント設定オブジェクト] フィールドで、この Web サーバインスタンスのエージェント設定オブジェクトの名前を入力し、[次へ] をクリックします。

この名前は、ポリシーサーバですでに定義されているエージェント設定オブジェクトに一致する必要があります。

5. [Web サーバ設定の概要] ダイアログボックスで設定が正しいことを確認してから、[インストール] をクリックします。

Web エージェントファイルがインストールされます。

6. インストールが完了したら、[終了] をクリックします。
7. コンピュータを再起動します。

Web サーバからの既存のエージェントソフトウェアの削除

Windows オペレーティング環境から SiteMinderWeb エージェントをアンインストールする前に、レジストリ設定および Web エージェント構成設定のバックアップ コピーを作成することを考慮してください。

以下の点に注意してください。

- インストールされたすべての Web サーバのすべての Web エージェントがアンインストールされます。
- パスワード サービスおよびフォーム ディレクトリ (pw_default、jpw_default、samples_default) が削除されます。ただし、これらのディレクトリにはカスタマイズされたファイルが含まれている場合があるため、これらのディレクトリのデフォルト以外のコピー (pw、jpw、サンプル) は削除されません。

次の手順に従ってください:

1. Web サーバを停止します。
2. 以下のいずれかの手順を使用して、サーバ上のエージェントの設定を削除します。
 - ウィザードを使用して Web エージェントを設定解除するには、手順 3 に進みます。
 - コンソールベースのプログラムを使用してエージェントを設定解除するには、手順 6 に進みます。
3. [スタート] - [すべてのプログラム] - [CA] - [CA SiteMinder®] をクリックします。

Web エージェント設定ウィザードへのショートカットが表示されません。

4. ショートカットを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、実行ファイルを管理者権限で実行します。管理者としてシステムにログインしている場合でも、これらの権限を使用します。詳細については、お使いの CA SiteMinder® コンポーネントの「リリース ノート」を参照してください。

Web エージェント設定ウィザードが開始します。

5. Web サーバ上で設定されたエージェント インスタンスのチェックボックスをオフにし、ウィザードを完了します。

6. root 権限を使用してコマンドプロンプト ウィンドウを開きます。
7. ca-wa-config.exe ファイルに移動し、以下のスイッチで実行します。
-i console
8. Web サーバ上で設定されたエージェント インスタンスを設定解除します。設定プログラムが完了するのを待ってから、手順 9 に進みます。
9. 以下のいずれかの手順を選択します。
 - ウィザードを使用して Web エージェントを削除するには、手順 10 に進みます。
 - コンソールベースのプログラムを使用して Web エージェントを削除するには、手順 15 に進みます。
10. [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムと機能] の順にクリックします。
インストールされたプログラムのリストが表示されます。
11. [SiteMinder Web エージェント バージョン番号] をクリックします。
12. [アンインストール/変更] をクリックします。
アンインストール ウィザードが表示されます。
13. [SiteMinder Web エージェントのアンインストール] ダイアログ ボックスの情報を確認し、次に、[アンインストール] をクリックします。
ウィザードが Web エージェントを削除します。
14. ウィザードが完了するのを待ってから、手順 17 に進みます。
15. コマンドライン ウィンドウを開きます。
16. 以下のディレクトリに移動します。

web_agent_home

web_agent_home

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : C:\Program Files\CA\webagent

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : C:\Program Files\CA\webagent\win64

デフォルト (64 ビット システムで稼働している Windows 32 ビット アプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win32

17. 以下のコマンドを実行します。

```
ca-wa-uninstall.cmd -i console
```

18. アンインストールプログラムが完了するのを待ってから、手順 19 に進みます。

19. Web サーバを開始します。

重要: Web エージェントをアンインストールした後に次の場所から ZeroG レジストリ ファイルを削除します : C:¥Program Files¥ZeroG Registry¥com.zerog.registry.xml

エージェントの新規バージョンの Web サーバへのインストール

ユーザのエージェントの旧バージョンの設定解除および削除後に、バージョン 12.52 SP1 を Web サーバにインストールします。

エージェントのインストールプログラムは Windows オペレーティング環境を使用して、一度に 1 台のコンピュータにエージェントをインストールします。このインストールプログラムはウィザードまたはコンソールモードで実行できます。ウィザードおよびコンソールベースのインストールプログラムは、同じ設定の無人またはサイレントメソッドを使用して、後続のインストールおよび設定のための .properties ファイルも作成します。

たとえば、環境内のエージェントが同じ Web サーババージョン、インストールディレクトリ、エージェント設定オブジェクト、およびポリシーサーバを使用すると仮定します。最初のインストールにはインストールウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムを使用します。その後、ウィザードまたはコンソールベースのインストールプログラムが作成した .properties ファイルを有するインストールプログラムを実行するために独自のスクリプトを作成できます。

次の手順に従ってください:

1. Web サーバ上の一時ディレクトリに Web エージェント インストール 実行可能ファイルをコピーします。
2. 以下のいずれかを実行します。
 - ウィザードベースのインストールでは、インストール実行可能ファイルを右クリックし、次に、[管理者として実行] を選択します。
 - コンソールベースのインストールでは、コマンドライン ウィンドウを開き、以下の例に示すとおり実行可能ファイルを実行します。

```
executable_file_name.exe -i console
```

事前に収集した情報を使用してインストールを完了します。

Web サーバ上でのエージェントの新規バージョンの設定

エージェント設定ワークシート用の情報を収集した後に、エージェント設定ウィザードを実行します。設定ウィザードは、IIS Web サーバ上で IIS 用エージェントのランタイム インスタンスを作成します。

設定ウィザードを 1 回実行すると、プロパティ ファイルが作成されます。同じオペレーティング環境および設定を持った他のコンピュータ上で無人設定を実行するためにプロパティ ファイルを使用します。

注: このバージョンの IIS 用エージェントの設定ウィザードは、コンソールモードをサポートしません。

次の手順に従ってください:

1. [スタート] - [すべてのプログラム] - [CA] - [SiteMinder] をクリックします。

Web エージェント設定ウィザードへのショートカットが表示されます。

2. ショートカットを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、実行ファイルを管理者権限で実行します。管理者としてシステムにログインしている場合でも、これらの権限を使用します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネントのリリース ノートを参照してください。

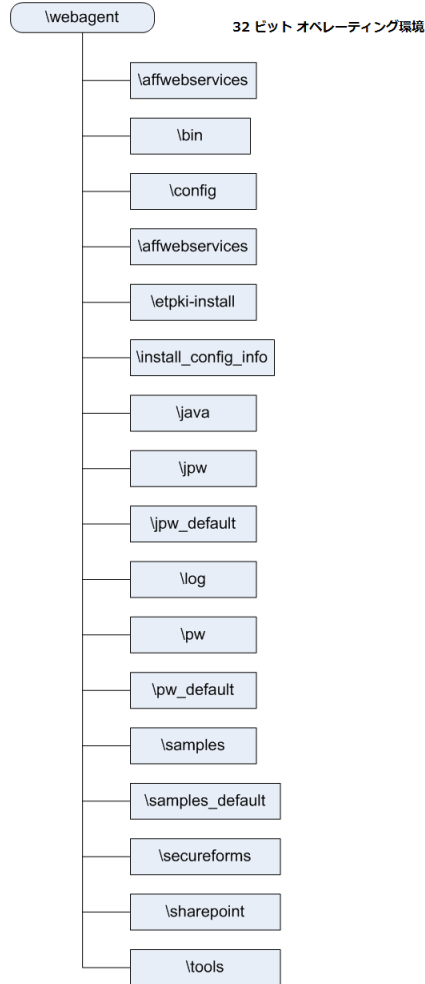
Web エージェント設定ウィザードが開始します。

ウィザードを完了します。

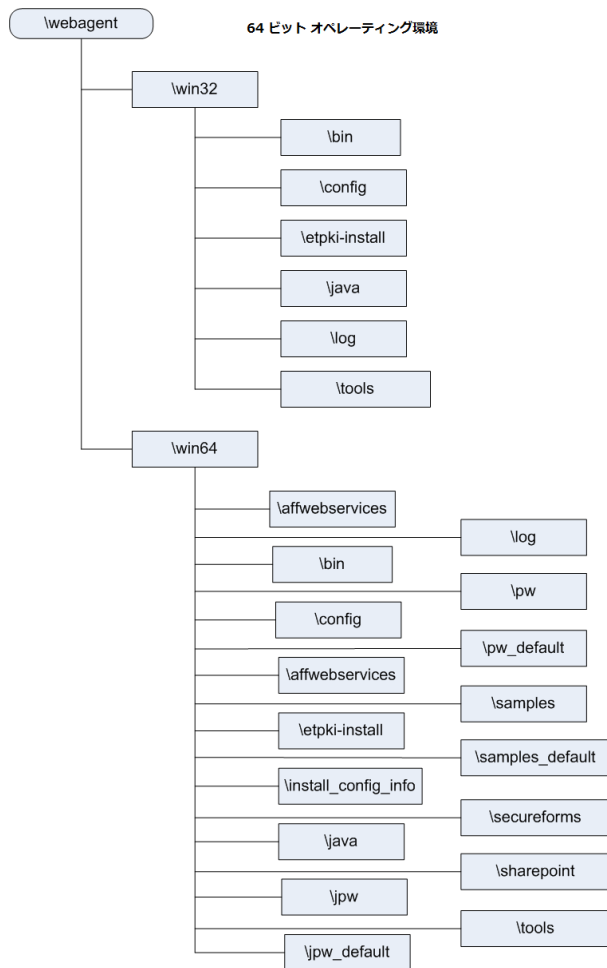
(オプション) 新規エージェントのディレクトリ構造の確認

エージェントファイルの IIS Web サーバに追加されたディレクトリ構造は、IIS Web サーバのオペレーティング環境に応じて異なります。以下のディレクトリ構造があります。

- IIS 用 SiteMinder エージェントは、以下の図に示すディレクトリ構造を使用します。



- 64 ビットオペレーティング環境にインストールされた IIS の SiteMinder エージェントは、以下の図に示すディレクトリ構造を使用します。



第 4 章: ダイナミックポリシー サーバクラスタ

旧バージョンの SiteMinder エージェントは、ポリシー サーバがクラスタに追加されたり、クラスタから削除されたりした時期を自動的に検出しませんでした。エージェントは、Web サーバが再起動された後にしか変更を認識しませんでした。

SiteMinder12.52 SP1 は動的ポリシー サーバクラスタをサポートします。動的ポリシー サーバクラスタを有効にすると、既存クラスタに対するポリシー サーバの追加または削除がエージェントによって自動検出されません。

たとえば、エージェントが以下のポリシー サーバのクラスタに接続しているとします。

- 192.168.2.100
- 192.168.2.101
- 192.168.2.103
- 192.168.2.104

オペレーティング システムをアップグレードするためにサーバ 192.168.2.103 を削除することを後で決めたとします。この状況では、動的なポリシー サーバクラスタを有効にすると、エージェントはクラスタのメンバシップの変更を再起動なしに認識することができます。

以下のタスクのいずれかを実行する場合は、**Web** サーバを再起動します。

- 既存のポリシー サーバの設定を変更します (設定ウィザードを使用)。
- ポリシー サーバ クラスタの作成
- ポリシー サーバ クラスタの削除
- 以下のいずれかのポリシー サーバ設定値の変更：
 - EnableFailOver
 - MaxSocketsPerPort
 - MinSocketsPerPort
 - NewSocketStep
 - RequestTimeout

ダイナミックポリシー サーバクラスタへの Web エージェントの接続

Web サーバ上の SmHost.conf ファイルを変更することで、1 つ以上のダイナミックポリシーサーバクラスタに Web エージェントを接続することができます。

次の手順に従ってください：

1. テキストエディタで以下のファイルを開きます。

```
web_agent_home¥config¥SmHost.conf
```

```
web_agent_home
```

SiteMinder エージェントがインストールされているディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : C:¥Program Files¥CA¥webagent

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : C:¥Program Files¥CA¥webagent¥win64

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win32

デフォルト (UNIX/Linux インストール) : /opt/ca/webagent

2. 以下のタスクのいずれかを実行します。

- この Web エージェントがポリシーサーバの動的なクラスタに一度も接続されたことがない場合は、以下のテキストを使用して (ファイル内の任意の場所に) 行を作成します。

```
enableDynamicHCO="YES"
```

- この Web エージェントが以前にポリシーサーバのダイナミッククラスタに接続されていた場合は、既存の enableDynamicHCO パラメータの値を「NO」から「YES」に変更します。

3. SmHost.conf ファイルを保存し、テキストエディタを閉じます。
4. Web サーバを再起動します。

Web エージェントはダイナミックポリシーサーバクラスタに接続されました。

第 5 章: Web エージェントの起動と停止

Web エージェントの有効化

エージェントのパラメータを設定して、エージェントが Web サーバ上のリソースを保護できるようにします。

注: SiteMinder ポリシー サーバにポリシーも定義するまでは、リソースは保護されません。

次の手順に従ってください:

1. WebAgent.conf ファイルをテキスト エディタで開きます。

注: 64 ビットオペレーティング環境にインストールされた IIS 用エージェントには、2 つの WebAgent.conf ファイルがあります。1 つのファイルは 32 ビット Windows アプリケーション用です。もう 1 つのファイルは 64 ビット Windows アプリケーション用です。IIS 用エージェントを起動または停止する場合は、*両方*の WebAgent.conf ファイルを変更します。

2. EnableWebAgent パラメータの値を **yes** に変更します。
3. WebAgent.conf ファイルを保存して閉じます。
4. Web サーバ (サーバが実行されるコンピュータではなく Web サーバ自体) を再起動します。

Web エージェントが有効になります。

Web エージェントの無効化

Web エージェントによる Web サーバ上のリソースの保護およびポリシーサーバとの通信を停止するには、Web エージェントを無効にします。

次の手順に従ってください:

1. WebAgent.conf ファイルをテキスト エディタで開きます。

注: 64 ビット オペレーティング環境にインストールされた IIS 用エージェントには、2 つの WebAgent.conf ファイルがあります。1 つのファイルは 32 ビット Windows アプリケーション用です。もう 1 つのファイルは 64 ビット Windows アプリケーション用です。IIS 用エージェントを起動または停止する場合は、*両方*の WebAgent.conf ファイルを変更します。

2. EnableWebAgent パラメータの値を no に変更します。
3. WebAgent.conf ファイルを保存して閉じます。
4. Web サーバ (サーバが実行されるコンピュータではなく Web サーバ自体) を再起動します。

Web エージェントが無効になります。

第 6 章: Web エージェントのアンインストール

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Web エージェントのアンインストールに関する注意事項 \(P. 69\)](#)

[IIS エージェントのアンインストール \(P. 70\)](#)

[IIS エージェントのサイレントでの削除 \(P. 72\)](#)

Web エージェントのアンインストールに関する注意事項

以下の点に注意してください。

- インストールされたすべての Web サーバのすべての Web エージェントがアンインストールされます。
- パスワード サービスおよびフォーム ディレクトリ (`pw_default`、`jpw_default`、`samples_default`) が削除されます。ただし、これらのディレクトリにはカスタマイズされたファイルが含まれている場合があるため、これらのディレクトリのデフォルト以外のコピー (`pw`、`jpw`、`サンプル`) は削除されません。

IIS エージェントのアンインストール

Windows オペレーティング環境から SiteMinderWeb エージェントを削除する前に、レジストリ設定および Web エージェント構成設定のバックアップコピーを作成することを考慮してください。

以下の点に注意してください。

- インストールされたすべての Web サーバのすべての Web エージェントがアンインストールされます。
- パスワードサービスおよびフォーム ディレクトリ (pw_default、jpw_default、samples_default) が削除されます。ただし、これらのディレクトリにはカスタマイズされたファイルが含まれている場合があるため、これらのディレクトリのデフォルト以外のコピー (pw、jpw、サンプル) は削除されません。

注: サーバファームから IIS 用 SiteMinderWeb エージェントを削除するには、ファームの各ノード上でアンインストールプログラムを実行します。まず、ファーム内の最初の Web サーバから Web エージェントを削除し、次に、他のすべてのノードから Web エージェントを削除します。最初のサーバは、共有設定情報が格納される IIS Web サーバを参照します。ノードは、最初のサーバから共有設定を読み取る IIS Web サーバを参照します。

次の手順に従ってください:

1. Web サーバを停止します。
2. 削除するエージェントの設定を削除するために、設定ウィザードを実行します。
3. 以下のいずれかの手順を選択します。
 - ウィザードを使用して Web エージェントを削除するには、手順 3 に進みます。
 - コンソールベースのプログラムを使用して Web エージェントを削除するには、手順 8 に進みます。
4. [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムと機能] の順にクリックします。
5. CA SiteMinder Web エージェントのバージョンをクリックします。
6. [アンインストール/変更] をクリックします。

7. [SiteMinder Web エージェントのアンインストール] ダイアログ ボックスの情報を確認し、次に、[アンインストール] をクリックします。
8. ウィザードが完了するのを待ってから、手順 12 に移動します。
9. コマンドライン ウィンドウを開きます。
10. 以下のディレクトリに移動します。

web_agent_home

web_agent_home

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : C:\Program Files\CA\webagent

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : C:\Program Files\CA\webagent\win64

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : C:\Program Files (x86)\webagent\win32

11. 以下のコマンドを実行します。

```
ca-wa-uninstall.cmd -i console
```

12. アンインストールプログラムが完了するのを待ってから、手順 12 に移動します。
13. Web サーバを開始します。

重要: Web エージェントをアンインストールした後に次の場所から ZeroG レジストリ ファイルを削除します : C:\Program Files\ZeroG Registry\com.zerog.registry.xml

IIS エージェントのサイレントでの削除

SiteMinder エージェントは、無人モードでのエージェントのアンインストールをサポートしています。このオプションでは、エンドユーザーによるインタラクションは必要ありません。

1. Web サーバにログインします。
2. 管理者権限を使用してコマンドプロンプト ウィンドウを開きます。

重要: Windows Server 2008 上で SiteMinder ユーティリティまたは実行可能ファイルを実行する前に、管理者権限でコマンドライン ウィンドウを開きます。アカウントに管理者権限がある場合でも、このようにコマンドライン ウィンドウを開きます。

3. 削除するエージェントの設定を削除するために、設定ウィザードを実行します。
4. 以下のコマンドを実行します。

```
web_agent_home¥install_config_info¥ca-wa-uninstall¥uninstall.exe -f  
installvariables.properties -i silent
```

注: パスにスペースが含まれる場合は、引用符で囲んでください。

web_agent_home

SiteMinder エージェントが Web サーバにインストールされるディレクトリを示します。

デフォルト (SiteMinder IIS Web エージェントの Windows 32 ビットインストールのみ) : C:¥Program Files¥CA¥webagent

デフォルト (Windows 64 ビットインストール [IIS 用 SiteMinder Web エージェントのみ]) : C:¥Program Files¥CA¥webagent¥win64

デフォルト (64 ビットシステムで稼働している Windows 32 ビットアプリケーション [IIS 用 SiteMinder Web エージェントを持つ Wow64 のみ]) : C:¥Program Files (x86)¥webagent¥win32

エージェントが Web サーバから削除されます。

5. IIS サーバファームで、ファームの各 Web サーバに対して手順 1 ~ 3 を繰り返します。

第 7 章: トラブルシューティング

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[IIS 用 SiteMinderWeb エージェントの前に別の IIS 7.x モジュールを実行する
必要があります。](#) (P. 74)

[エージェント設定後にドキュメント ルート フォルダを変更するとリソー
スが非保護のままになる](#) (P. 75)

[エージェントのスタートアップおよびシャットダウンの問題の診断 \(フ
レームワーク エージェントのみ\)](#) (P. 76)

[ホスト設定ファイルへのアクセス許可がないことを表すイベント ビュー
ア メッセージ](#) (P. 76)

IIS 用 SiteMinderWeb エージェントの前に別の IIS 7.x モジュールを実行する必要があります。

IIS Web サーバに IIS 用 SiteMinder エージェントをインストールし設定するとき、IIS 用エージェントは他のモジュールの前に実行されます。IIS 環境で別のモジュールを最初に実行することが必要な場合、Windows レジストリの以下の場所に設定された番号を変更できます。

```
HKLM\SOFTWARE\Wow6432Node\Netegrity\SiteMinder Web Agent\Microsoft IIS\RequestPriority
```

たとえば、IIS 7.x Web サーバ内の他のモジュール (UrlScan など) に、IIS 用 SiteMinder エージェントと同じ実行優先度が割り当てられているとします。この設定を使用して SiteMinder モジュールがいつ実行されるかを制御します。

次の手順に従ってください:

1. IIS Web サーバ上で Windows レジストリ エディタを開きます。
2. 以下のキーを展開します。

```
HKLM\SOFTWARE\Wow6432Node\Netegrity\SiteMinder Web Agent\Microsoft IIS
```

3. 以下の値を見つけます。

```
RequestPriority
```

4. RequestPriority の値を、次の値に対応する望みの数値に変更します。

PRIORITY_ALIAS_FIRST

IIS 用 SiteMinder エージェントを、IIS Web サーバの他のモジュールの前に実行します。これがデフォルトの設定です。

例：0 (最初)

デフォルト：0

PRIORITY_ALIAS_HIGH

最初に実行すると設定された任意のモジュールの後で、かつ、実行優先度が「中」、「低」または「最後」に設定されたモジュールよりも先に、IIS 用 SiteMinder エージェントのモジュールを実行します。

例：1 (高)

PRIORITY_ALIAS_MEDIUM

IIS 用 SiteMinder エージェントの各モジュールは、**first** および **high** での実行を設定されたモジュールの後で、かつ、**low** または **last** 優先度の実行が設定されたモジュールの前に実行します。

例：2 (Medium)

PRIORITY_ALIAS_LOW

IIS 用 SiteMinder エージェントの各モジュールは、**first**、**high**、および **medium** での実行を設定されたモジュールの後で、かつ、**last** 優先度の実行が設定されたモジュールの前に実行します。

例：3 (Low)

PRIORITY_ALIAS_LAST

他のすべてのモジュールの後に IIS 用 SiteMinder エージェントのモジュールを実行します。

例：4 (Last)

5. 変更を保存し、レジストリ エディタを閉じます。
6. 設定をテストし、IIS モジュール用エージェントが実行される前に望むモジュールが実行されることを確認します。

エージェント設定後にドキュメント ルート フォルダを変更するとリソースが非保護のままになる

問題の状況:

SiteMinder エージェントを設定した後に Web サーバ上のドキュメント ルート フォルダの場所を変更しました。その結果、新しいドキュメント ルート フォルダ内のリソースが非保護になりました。

解決方法:

Web サーバ上のドキュメント ルート フォルダの場所を変更する場合は、再度エージェント設定プログラムを実行します。

エージェントのスタートアップおよびシャットダウンの問題の診断(フレームワーク エージェントのみ)

問題の状況:

SiteMinder エージェントが開始またはシャットダウンしない。

解決方法:

以下のタスクを実行します。

- Low Level Agent Worker Process (LLAWP) を個別に実行して問題を分離します。
- Windows 動作環境の Windows については、イベントビューアでアプリケーション ログを参照します。

ホスト設定ファイルへのアクセス許可がないことを表すイベントビューア メッセージ

IIS に該当

問題の状況:

イベントビューアに以下のメッセージが表示されました。

- Siteminder Web エージェントには、ホスト設定ファイルへの読み取りアクセス許可がありません。アクセス許可が拒否されました。ファイル C:\Program Files\CA\webagent\config\SmHost.conf への読み取り権限をユーザの DefaultAppPool に割り当ててください。
- Siteminder Web エージェントには、ホスト設定ファイルへの読み取りアクセス許可がありません。アクセス許可が拒否されました。ファイル C:\Program Files\CA\webagent\config\SmHost.conf への読み取り権限をユーザの DefaultAppPool に割り当ててください。

解決方法:

IIS Web サーバ上のすべてのアプリケーション プール ID には、IIS Web サーバをホストしているコンピュータ上で以下の SiteMinder アイテムへのアクセス許可が必要です。

- SmHost.conf ファイル

次の手順に従ってください:

1. 以下のファイルに移動します (開かないでください)。

`web_agent_home¥config¥SmHost.conf`

2. ファイルを右クリックして、[プロパティ] を選択します。
SmHost.conf の [プロパティ] ウィンドウが表示されます。

3. [セキュリティ] タブをクリックします。

4. [グループ] または [ユーザ名] ペインで **SYSTEM** が選択されていることを確認し、次に、[編集] をクリックします。

注: [ユーザアカウントコントロール] ダイアログ ボックスが表示されたら、[続行] をクリックします。

SmHost.conf の [許可] ダイアログ ボックスが表示されます。

5. [追加] をクリックします。

[ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択] ダイアログ ボックスが表示されます。

6. 以下の手順を実行します。

- a. [場所] をクリックします。

[場所] ダイアログ ボックスが表示されます。

- b. お使いのコンピュータ名 (リストの最上位にある) を選択し、[OK] をクリックします。

[場所] ダイアログ ボックスが閉じ、コンピュータ名が [場所の指定] フィールドに表示されます。

- c. [選択するオブジェクト名の入力] フィールドに、以下の形式でアプリケーションプール名を入力します。

`IIS AppPool¥Application_Pool_Name`

たとえば、デフォルト アプリケーション プールを追加するには、以下のテキストを入力します。

`IIS AppPool¥DefaultAppPool`

- d. [名前の確認] をクリックし、[OK] をクリックします。

[ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択] ダイアログ ボックスが閉じます。選択したアプリケーションプールと共に SmHost.conf の許可が表示されます。

7. 許可リストで、以下のチェック ボックスをオンにします。
 - 読み取り
 - 読み取りと実行
 - 書き込み
8. [OK] をクリックします。

SmHost.conf の [許可] ダイアログ ボックスが閉じます。
9. [OK] をクリックします。

SmHost.conf の [プロパティ] ウィンドウが閉じます。アプリケーション プール ID に対して SiteMinder SmHost.conf ファイルへのアクセス許可が付与されました。

付録 A: ワークシート

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[Windows オペレーティング環境の Web エージェント インストール ワークシート \(P. 79\)](#)

[IIS Web サーバ用の SiteMinder エージェント設定ワークシート \(P. 79\)](#)

Windows オペレーティング環境の Web エージェント インストール ワークシート

以下の表を使用して、IIS 用エージェント インストールプログラムが Windows オペレーティング環境に対して必要とする情報を記録します。

必要な情報	使用する値
インストールディレクトリ	
ショートカットの場所	

IIS Web サーバ用の SiteMinder エージェント設定ワークシート

以下の表を使用して、SiteMinder エージェント設定プログラムが IIS Web サーバに対して必要とする情報を記録します。

必要な情報	使用する値
ホスト登録 (はい/いいえ)	
管理者ユーザ名	
管理者パスワード	
共有秘密キーのロールオーバーの有効化	
トラステッドホスト名 (各サーバに一意)	

必要な情報	使用する値
ホスト設定オブジェクト	
IP アドレス	
FIPS モード設定	
SmHost.conf ファイル名	
SmHost.conf ファイルの場所	
サーバの選択	
上書き、保存、設定解除	
エージェント設定オブジェクト名	
Webagent 有効オプション	

詳細情報:

[エージェントインストールプログラム用の情報を収集します。](#) (P. 24)